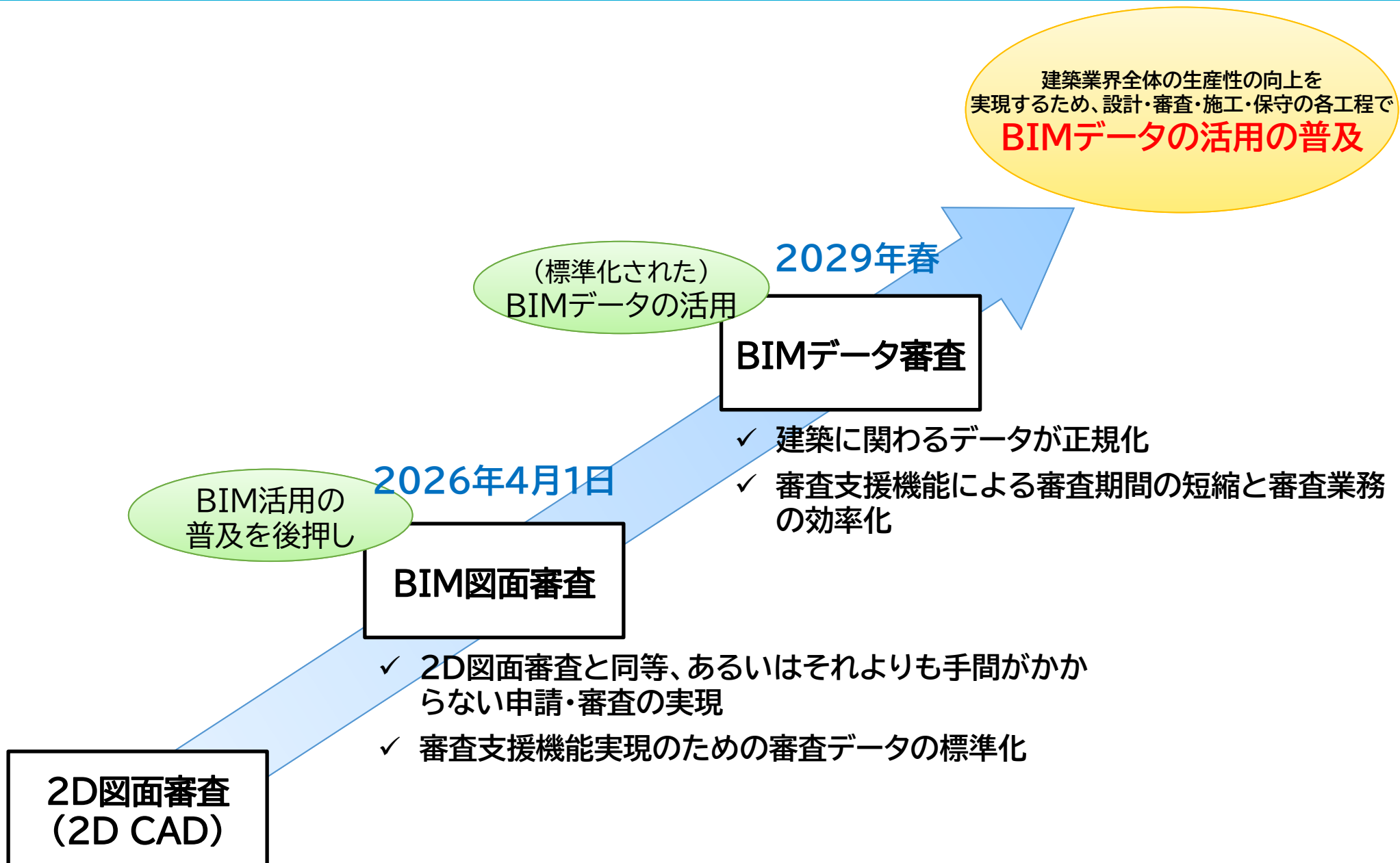


BIM図面審査のその先へ

令和8年8月27日

国土交通省住宅局建築指導課



BIM図面審査

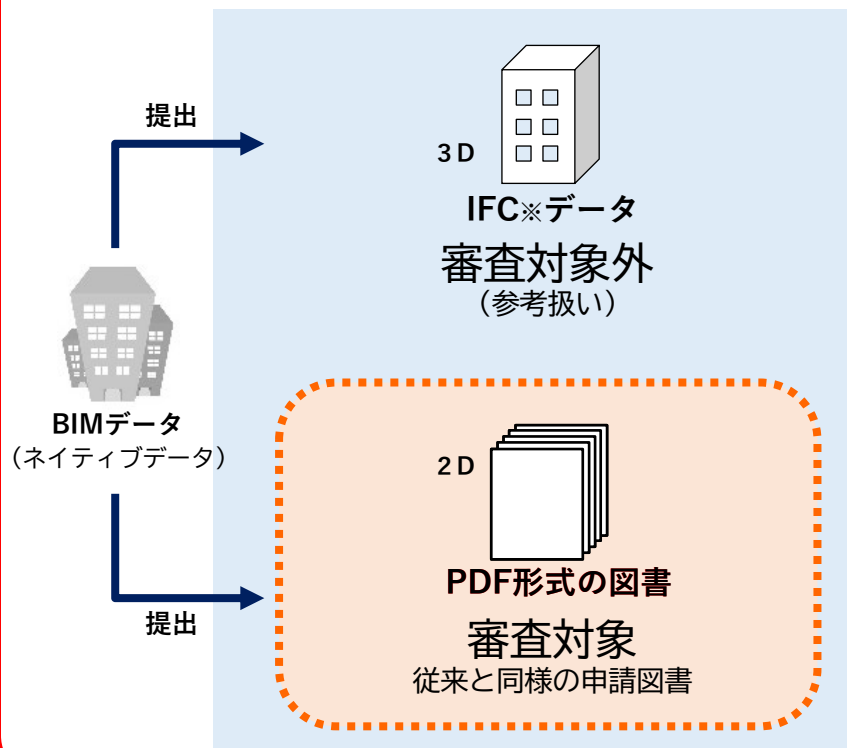
BIMデータから出力されたIFCデータとPDF形式の図書の提出により、図面間の整合チェックが不要となり、審査期間の短縮に寄与

2026年4月1日

開始

2027年度～

順次拡大



BIMデータ審査

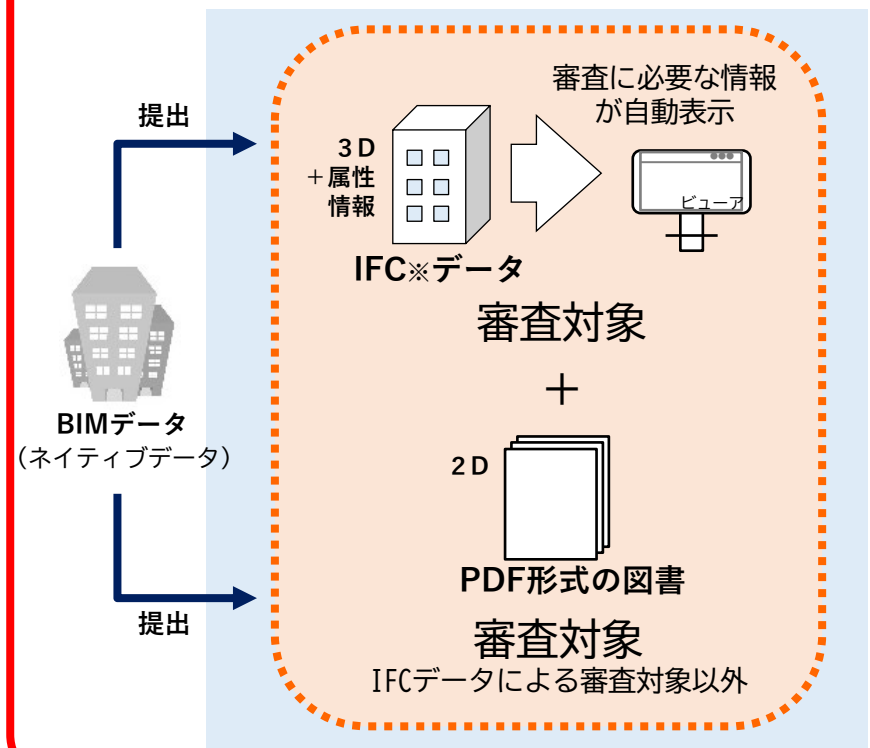
IFCデータを審査に活用し、審査に必要な情報が自動表示されることにより、更なる審査の効率化（審査期間の更なる短縮）に寄与

2029年春

開始

将来像

IFCデータを活用した
審査対象を順次拡大

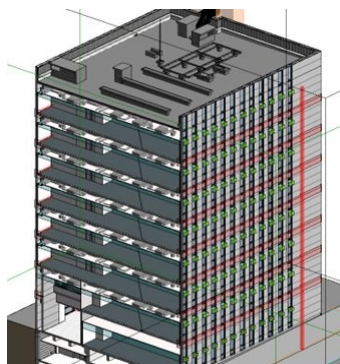


「BIMデータ審査」の実施に向けた環境整備

BIMデータ審査とは「確認申請のデジタル化」

- ・ 審査の対象は、**IFCデータそのもの**
- ・ IFCデータを用いて、審査事項に適した方法で表示した**ビュー審査**と、審査を補助する**プログラムやAIを用いたデジタル審査**による建築確認

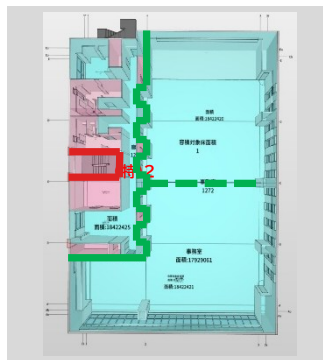
IFCデータ



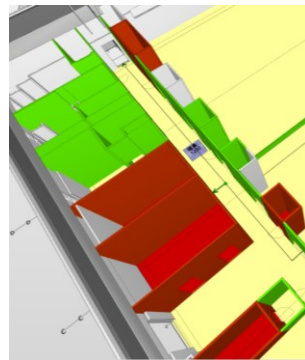
申請

申請前、設計者が審査に必要な情報の記入漏れ等をチェック可能

ビュー審査



IFCデータを用いて審査事項に適した方法で視覚的にわかりやすい表示により審査



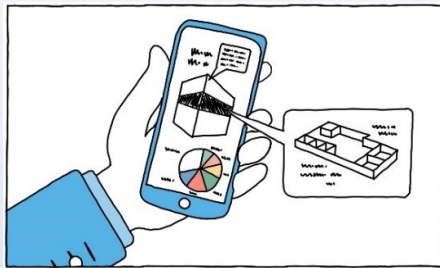
デジタル審査



IFCデータの情報をプログラムで処理した結果を用いて審査することで、審査を高品質化・効率化

高品質・高精度な
建築生産・維持管理の実現

いいものが



- 3Dモデルの形状と属性情報により空間を確認できることで、建築のプロでない人でもイメージを共有
- 設計・施工時の情報が一元管理されることで、建築生産の効率的な品質管理を実現
- 完成後も活用可能なデータにより、最適な維持管理、資産管理、エネルギー管理を支援

高効率なライフサイクルの実現

無駄なく、速く



- 投資効果の可視化(コストマネジメント)による迅速な意思決定
- 設計・施工・維持管理段階の円滑な情報の伝達により、無駄のない建物のライフサイクルを実現
- 設計・施工の各工程の作業効率化
- 維持管理の省力化の実現
- 海外との共通・競争基盤としてのBIMの確立

社会資産としての
建築物の価値の拡大

建物にも、
データにも
価値が



- 適正かつリアルタイムな資産評価・資産管理の実現
- センサー等との連携による建築物へのサービスの拡大
- ビッグデータ・AIの活用による建築物を起点とした新たな産業の創出
- インフラプラットフォームとの融合による最適なリスク管理の実現